

(様式1)

提案機関 長崎県農林技術開発センター 番号 2

## 「農業新技術2014」の選定候補技術(研究成果)

① 研究成果名	大果で食味がよい中生のピワ新品种「なつたより」
② 開発担当機関	長崎県農林技術開発センター果樹研究部門
③ 開発年度及び関連するプロジェクト、競争的資金名	研究期間: 1990~2007年度、予算区分: 国庫(指定試験)
④ 技術開発の目的	九州をはじめとするピワの産地では、「茂木」が露地栽培の大半を占めており収穫時期に労力が集中するため、規模拡大が進まない。また、「茂木」は果実が小さく、収量が低い。そこで、大果で食味が良く豊産性の品種を育成した。
⑤ 研究成果の概要	ピワ新品种「なつたより」は、「長崎早生」に「福原早生」を交雑して育成した中生の品種である。樹勢は強く、着花性は良好で豊産性である。がんしゅ病の発生は少ない。熟期は5月下旬で「茂木」よりやや早く成熟する。果実重は60g以上で「茂木」よりも大果である。また、「茂木」より果肉は軟らかく高糖度で、食味が良好である。果皮障害は概ね少なく、外観良好である。
⑥ 研究成果を導入した場合のメリット(経営試算に関する情報等)	「茂木」よりも熟期がやや早く、大果で食味が良いため、販売単価が向上する(「茂木」よりも20%アップ)。また、豊産性であるために収量も多くなり(「茂木」の2倍以上)、農家経営安定に寄与する。さらに、「茂木」との熟期分散により、経営規模の拡大が可能となる。
⑦ 研究成果の普及対象と普及見込み(※注1)	・普及対象: 西南暖地のピワ産地 ・普及見込み: 200ha
研究成果の普及目標(※注1)	・普及目標: 160ha(長崎県における目標、「輝くながさき園芸産地振興計画」による)
⑧ 研究成果の現在の普及状況	栽培面積: 57ha(長崎県) (他に、鹿児島県をはじめ、8県で試作中)
⑨ 研究成果の普及の取組	長崎県では「長崎びわ」産地活性化対策事業および果樹産地構造改革対策事業により、栽培実証圃の設置、改植・補植に対する補助、共同選果体制整備、栽培技術の確立および普及などを通じて生産振興を推進している。また、香川県中部の2つの産地協議会において奨励品種として普及を図っている。熊本県でも奨励品種とする方向で検討中。
⑩ 関係する施策	・関連する施策を選択してください。 1 水田・畑作等の生産資源の最大限の活用 2 国産小麦・米粉の利用拡大 3 飼料自給率の向上 4 食品の安全性の向上 5 農産物の加工・業務用需要対応 6 需要に応じた生産拡大 ⑦ 農産物の付加価値の向上や輸出促進 8 生産資材のコスト削減 9 バイオマスを基軸とする新たな産業の振興 10 集落機能の維持と地域資源・環境の保全(鳥獣害対策を含む) 11 地球温暖化対策への貢献(省資源・省エネルギーも含む) ⑫ その他(緊急性のある課題等)
⑪ 本技術(研究成果)に関連するURL、マニュアル等の作成状況	・研究報告: <a href="http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/research_report/PDF/S1-6.pdf">http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/research_report/PDF/S1-6.pdf</a> ・研究成果情報: <a href="http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/result/H19seika-jyuhou/fukyu/F-19-13.pdf">http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/result/H19seika-jyuhou/fukyu/F-19-13.pdf</a> ・栽培ガイド(マニュアル)H22初版作成、H23改訂版作成 ・収穫適期カラーチャート、H25作成( <a href="http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/result/H24seika-jouhou/fukyu/F-24-13.pdf">http://www.n-nourin.jp/nougi/theme/result/H24seika-jouhou/fukyu/F-24-13.pdf</a> )
⑫ 本技術の問い合わせ先(※注2)	長崎県農林技術開発センター果樹研究部門、ピワ・落葉果樹研究室、稗圃直史 0957-55-8775
⑬ 該当する分野	・次の中から該当するものを選んでください。 [米、普通畑作物、野菜、果樹、花き、畜産、鳥獣害、その他]
⑭ 普及が期待できる主な都道府県(希望意見照会先)	長崎県、鹿児島県、香川県、熊本県、山口県、福岡県、兵庫県、和歌山県、千葉県

別紙 関連

<p>⑮ その他補足情報(技術を導入する際の留意事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果皮は橙黄色であるが、「茂木」よりも橙色がやや薄いので、収穫適期を逃さないように注意する。</li> <li>・年により樹冠上部や外周部の果実に紫斑症が発生することがあるので、遮光性の高い果実袋を用いるなどの対策が必要である。</li> <li>・茨城から鹿児島までの全国23団体・業者が苗木を生産、販売しているとともに、全国のビワ産地で栽培可能である。</li> </ul>
<p>⑯ 9月末からの変更点(※該当する場合に記載)</p>	

注1)「⑦研究成果の普及対象と普及見込み、普及目標」は、「農業新技術2014」の普及計画及び普及目標の策定の際の参考とします。

注2)本問い合わせ先は、基本的に、当局からの問い合わせ及び都道府県への意見照会(10月)の際の農業革新支援専門員からの問い合わせ先として使用させていただきます。

注3)研究成果ごとにA4サイズにまとめてご提出願います(2ページまで)。また、必要に応じて、参考資料の添付をお願いします。

# 大果で食味がよい中生のビワ新品种「なつたより」

既存の主要品種である「茂木」より大果であるにもかかわらず、果肉が軟らかくて糖度が高く良食味のビワ新品种を育成

## 研究開発の背景

- ・西南暖地のビワ産地では「茂木」が栽培面積の大半を占めている。
- ・ビワは収穫・調製に労力が集中するため、単一品種による栽培形態では規模拡大ができない。
- ・「茂木」は果実が小さく収量が少ないため、収益性が低い。

## 研究成果の内容

- ①「長崎早生」と「茂木」の中間に成熟。
- ②果実重は60g以上で「茂木」より約1.4倍大きく、収量も多い。
- ③果肉が軟らかくて糖度が高く、食味がよい。



「なつたより」と「茂木」の比較

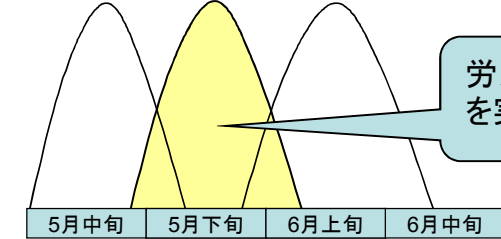
「なつたより」の果実特性(長崎果樹試、2006～2007年の平均値)

系統名	果実重 (g)	果肉の厚さ (mm)	果肉硬度	食味	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)
なつたより	61.9	10.1	やや軟	良	12.3	0.20
茂木	44.7	8.5	やや硬	普通	11.8	0.22

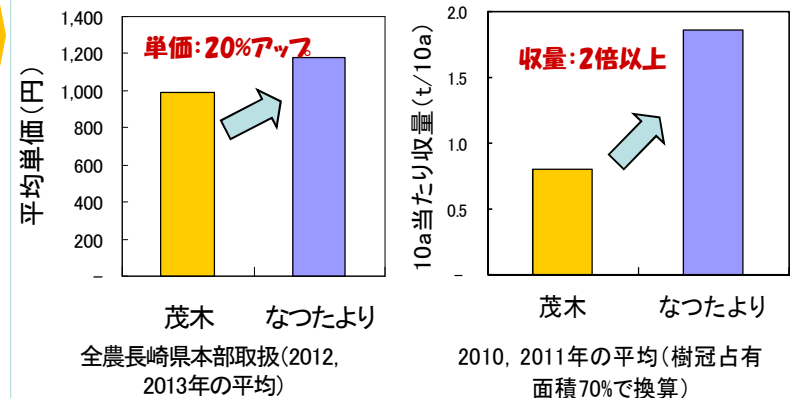
**大果**      **果肉が柔軟で糖酸比高く良食味**

導入メリット

長崎早生    なつたより    茂木



「なつたより」の収穫時期



## 期待される効果

- ・大果、良食味、豊産性、労力分散により、ビワ生産者の経営安定に寄与。
- ・食味のよい果実を消費者に供給することによるビワ需要の拡大。

導入をオススメする対象  
西南暖地のビワ栽培農家